



ファームウェアバージョン:	V1.28.B009	
ハードウェアバージョン:	DES-3200-10/18/28/28F	A1
	DES-3200-10/T	B1
	DES-3200-18/T	
	DES-3200-26/T	
	DES-3200-28/T	
発行日:	2011/08/10	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード手順:	2
CLI(シリアルポート)を使用するアップグレード	2
Web-UIを使用するアップグレード	4
追加機能:	7
MIBおよびD-Viewモジュールの変更点:	7
コマンドラインインタフェースの変更点:	7
修正した問題点:	7
既知の問題:	8

変更履歴とシステム要件:

ファームウェア バージョン	Boot-Code (Prom) バージョン	リリース日付	モデル	ハードウェア バージョン
ランタイム : v1.28.B009	1.00.B004	2011/08/10	DES-3200-10	A1
			DES-3200-18	
			DES-3200-26	
			DES-3200-28	
			DES-3200-28F	
	1.00.B007		DES-3200-10/T	B1
			DES-3200-18/T	
			DES-3200-26/T	
			DES-3200-28/T	

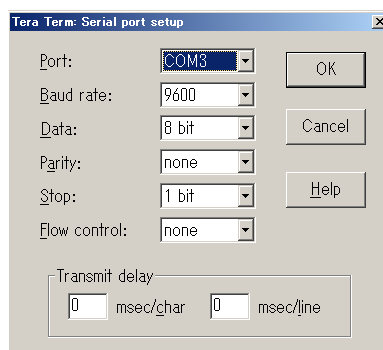
アップグレード手順:

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは[Web-UI](#)を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

CLI(シリアルポート)を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート(コンソールポート)で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート: **9600**
- データビット: **8**
- パリティ: **none**
- ストップビット: **1**
- フロー制御: **none**



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので、何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> <path_filename 64> {image_id <int 1-2>}]	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image_id <1-2> [delete boot_up]	Boot up イメージファイルの変更をします。
show firmware information	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:**1. ファームウェアを本製品にダウンロードします。**

DES-3200-26:4#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DES-3200_FW_R1.28.009.had image_id 1

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DES-3200_FW_R1.28.009.had image_id 1

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off !!

Please wait, programming flash..... Done.

Success.

2. ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

DES-3200-26:4#config firmware image_id 1 boot_up

Command: config firmware image_id 1 boot_up

Success.

3. ダウンロードし、ブートアップ時に起動するファイルとして設定が正常にされているか確認します。

DES-3200-26:4#show firmware information

Command: show firmware information

Image ID : 1(Boot up firmware)

Version : 1.28.009

Size : 3983116 Bytes

Update Time: 0000/00/00 00:01:01

From : 10.90.90.91

User : Anonymous(CONSOLE)

Image ID : 2

Version : 1.21.B006

Size : 3939564 Bytes

Update Time: 0000/00/00 00:06:06

From : 192.168.11.10

User : Anonymous(CONSOLE)

4. ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

DES-3200-26:4#reboot

Command: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n)

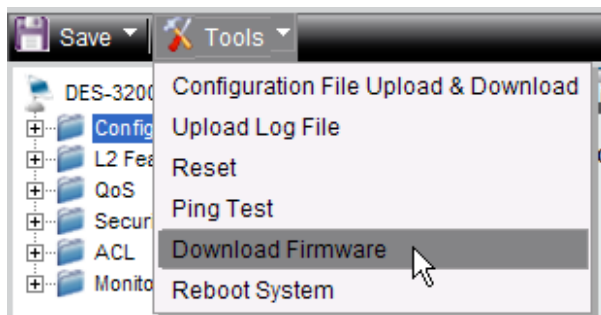
Please wait, the switch is rebooting...

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後に、“show switch”コマンドを実行して、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Web-UIを使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. 「Download Firmware」画面において、必要な情報を入力します。
 - Server IP タイプ (IPv4 もしくは IPv6) を選択し、選択した IP タイプの入力欄に TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
 - File Name: TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
 - Image ID: ファームウェアを格納したい Image ID (1 もしくは 2) を選択します。

Download Firmware

Server IP: 10.90.90.91 ☒ IPv4 ☐ IPv6

Interface Name:

File: DES-3200_FW_R1.28.009.had

Image ID: 1

Download

必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

- 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、下記画面のように表示されます。

Download Firmware

Current Status: File transferring...

File Transfer:

Percentage 12%

Program Firmware:

Write Flash Status -

- File Transfer の値が 100%になり、Program Firmware のフィールドに”Completed”と表示されるまで待ちます。

Download Firmware

Current Status: File Transfer Success !!

File Transfer:

Percentage 100%

Program Firmware:

Write Flash Status Completed.

- 次回のスイッチのリブート時にダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に起動するファイルとして設定するために、**Configuration > Firmware Information** の順にクリックし、ファームウェアがアップロードされたことを確認します。

Firmware Information							Safeguard	
ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User		Boot UP	Delete
1	1.28.009	3983116	0000/00/00 00:03:03	10.90.90.91	Anonymous(Web)		Boot UP	Delete
*2	1.21.B006	3939564	0000/00/00 00:06:06	192.168.11.10	Anonymous(CONSO...		Boot UP	Delete

※は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

10. 新しくアップロードしたファームウェアを次回ブートアップファイルとして設定するために、設定したい Image ID を選択し、「Set Boot」ボタンをクリックし、ブートアップファイルを設定します。

Firmware Information							Safeguard	
ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User		Boot UP	Delete
1	1.28.009	3983116	0000/00/00 00:03:03	10.90.90.91	Anonymous(Web)		Boot UP	Delete
*2	1.21.B006	3939564	0000/00/00 00:06:06	192.168.11.10	Anonymous(CONSO...		Boot UP	Delete

11. ブートアップファイルの登録が正常に終了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。

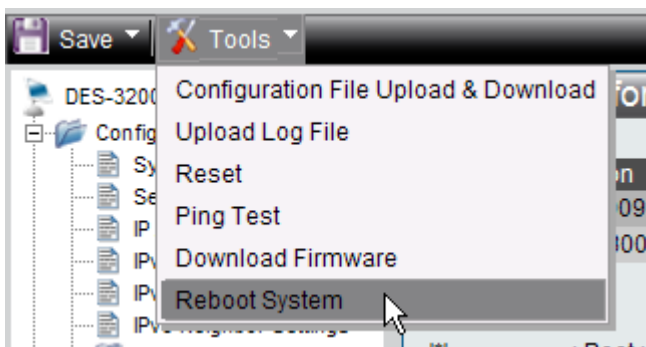
Firmware Information							Safeguard	
ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User		Boot UP	Delete
*1	1.28.009	3983116	0000/00/00 00:03:03	10.90.90.91	Anonymous(Web)		Boot UP	Delete
2	1.21.B006	3939564	0000/00/00 00:06:06	192.168.11.10	Anonymous(CONSO...		Boot UP	Delete

Web ページからのメッセージ

** : Boot up firmware
 (SSH) : Firmware update through SSH
 (Web) : Firmware update through Web
 (SIM) : Firmware update through Single IP Management

※は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

12. スイッチのリブートを行なうために、Tools> Reboot System の順でクリックし、



13. 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。

Reboot System		Safeguard
Do you want to save the settings ? <input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No		
If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost. <div>Reboot</div>		

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後、WEB GUI のトップページに表示される Device Information において、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V1.28.009	<ol style="list-style-type: none"> DES-3200-10/T、18/T、26/T、28/T のハードウェアバージョン B1 に対応致しました。 DHCP サーバからの ACK パケットにおいて DHCP Local Relay option82 を削除する仕様に対応致しました。

MIBおよびD-Viewモジュールの変更点：

MIB ファイルの追加機能は、対応する D-View モジュールにも実装されます。

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	追加・変更機能
V1.28.009	特になし	

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
V1.28.009	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V1.28.009	<ol style="list-style-type: none"> SSH 経由でユーザがログインする場合、スイッチが CPU 例外処理に移行する問題を修正致しました。 WEB GUI の ACL Finder ページにおいて、ユーザが一度に多くの ACL ルールを削除すると、スイッチが CPU 例外処理に移行する問題を修正致しました。 “multicast port_filtering”を“filter_unregistered_groups”として設定している場合、PC は IPv6 アドレスを使用してお互いに ping できない問題を修正致しました。 SSH 経由でログインしている場合、スイッチは AAA RADIUS リクエストパケットを RADIUS サーバへ送信できない問題を修正致しました。 “config radius”コマンドを設定された場合、スイッチは例外処理モードに移行し、自動的にリポートする問題を修正致しました。 SNMP 経由で各ポートのプロファイル ID をチェックする場合 (show limited_multicast_addr ports)、不完全なエントリを表示する問題を修正致しました。 ポートセキュリティの Lock_address モードが“DeleteOnTimeout”に設定されていても、FDB で “Dynamic”という表示のままになっていた問題を修正致しました。 トラフィックセグメンテーションが有効化されているポート上において、ポートがポートトラフィックセグメンテーションポートリストにあるフォワーディングポートリストに存在する場合、パケットフォワ

ーディング処理は確認する前にパケットを転送する問題を修正致しました。

9. WEB GUI 経由でのポートディスクリプションは正常に表示されず、CLI 経由でのポートディスクリプションは反映されない問題を修正致しました。
10. MAC アドレスがポート上で既に動的に学習されている場合、SNMP 経由で MAC アドレスのパーマネント・エントリを作成することができない問題を修正致しました。
11. SNMP グループを WEB GUI 経由で作成できない問題を修正致しました。
12. MAC アドレスのコリジョンが発生する場合、スイッチの FDB テーブルに存在しない衝突したクライアントでは、DHCP 経由で IP アドレスの設定を取得できない問題を修正致しました。
13. MSTP 設定において、non-CIST MSTP インスタンスをもつ VLAN の ping トラフィックが失敗する問題を修正致しました。
14. トラフィックセグメンテーションは DES-3200-18 及び DES-3200-10 のギガビットポートにおいては、正常に動作しない問題を修正致しました。
15. DES-3200 が SNMPwalk を使った特定 VLAN の FDB の SNMP 要求に応答しなかった問題を修正致しました。
16. スイッチは Linux のプラットフォーム上において、WEB GUI 経由の設定を正常に保存できない問題を修正致しました。
17. DES-3200 において DHCP リレー機能を利用している際、DHCP クライアントが DHCP サーバからの DHCP Offer を受け取ることができなかった問題を修正致しました。
18. ERPS/STP/802.1x Discarding ポートがフォワーディングポートからマスクアウトされず、それらのポートが Discarding ポートで受信した ARP/IP パケットを破棄できず、スイッチが間違った FDB エントリを表示する問題を修正致しました。
19. 不適切なメモリ管理によって、ある snmpwalk コマンドを実行する場合には、スイッチが例外処理に移行する問題を修正致しました。
20. 不適切なメモリ管理によって、SNMP 経由で LLDP データを取得しようとする場合には、スイッチが例外処理に移行する問題を修正致しました。
21. ループバック検知のパケットが、ループバック検知機能が動作しない MAC アクセスコントロール /802.1X によって未認証パケットとして扱われる問題を修正致しました。
22. WEB ブラウザの Firefox 3.62 を使用している場合、WEB GUI で設定もしくはログのアップロード/ダウンロードが出来ない問題を修正致しました。

既知の問題:

ファームウェアバージョン	既知の問題
V1.28.009	特になし

Copyright 2006-2011 D-link Japan K.K.